

編集後記

東日本大震災から5年が経過し、被災地域の復旧・復興の進展と併せて、大規模災害時の対応体制の強化が進んでいます。国土交通省では、リエゾン協定の拡大、TEC-FORCEの増強など。また日建連でも、関係機関との災害協定の締結が進み、昨年4月には、災害対策基本法に基づく「指定公共機関」の指定も受けました。震災の教訓は、仕組みという形あるものとして生かされています。これら仕組みの一翼を担う建設業関係者は、震災の教訓をしっかりと心の中に刻み付け、自然災害から国民を守る、その重要な役割を果たしていくことが大切だと思います。(T)

今号のけんせつ小町の舞台は愛媛県今治市。広島からしまなみ海道を渡り、現場を目指しました。今治は、今治市公会堂、今治市庁舎など、かの有名な建築家・丹下健三氏の作品が数多く残り、途中の大三島には伊東豊雄建築ミュージアムもあります。建築ファンは一見の価値あり。皆さんも、建築ツーリズムしてみませんか。(R)

発行 一般社団法人 日本建設業連合会
 〒104-0032
 東京都中央区八丁堀2-5-1
 東京建設会館
 TEL 03-3553-4095
 FAX 03-3551-4954
 URL <http://www.nikkenren.com/>
 発行者 有賀長郎
 企画・編集 一般社団法人 日本建設業連合会
 広報委員会
 制作 株式会社Kプロビジョン
 デザイン 株式会社コンセント
 印刷 株式会社耕文社

©2016 日本建設業連合会
 「ACe建設業界」は日本建設業連合会の登録商標です

年間購読料：4,800円(送料込)

鉄道交通講演会を開催

日建連は2月16日、東京・経団連会館で「2015年度鉄道交通講演会」を開催した。

はじめに、宮本洋一副会長・土木本部長が昨年12月に逝去された仁杉巖元国鉄総裁に哀悼の意を示した後、「3月26日に新青森・新函館北斗間で開業する北海道新幹線が経済効果を大いに発揮することが期待されるとともに、札幌までの早期到達も待たれる。安倍首相の訪印でインドで日本の新幹線システムが採用された。他国での計画の先駆けになることを期待している」とあいさつした。

今回の講演は、宇奈月温泉「サン柳亭」の女将・小柳博美さんが「北陸新幹線開業ふくらむ夢と希望」と題し、昨年3月に開業した北陸新幹線の効果や宇奈月温泉の歴史と黒部川水力発電所とのかかわり、観光名所などについて講演した。次いで、林良嗣名古屋大学大学院教授・持続的共発展教育研究センター長が「21世紀日本・世界の低炭素とクオリティ・オブ・ライフを演出する鉄道への期待」と題し、リニア中央新幹線による経済発展効果やインフラ輸出などについて論じた。当日は、会員企業や鉄道工事関係者ら約400人が聴講し、小柳さんと林教授の話を熱心に聞き入っていた。講演会終了後、引き続き懇親会が催され、盛況裡に終了した。



小柳博美さんが、北陸新幹線と観光について講演している様子。

≪お知らせ